



Yokohama Yomiuri ヨコハマよみうり

■発行／横浜読売会
■発行日／毎月5日
■発行部数／40万部
■発行エリア／横浜市内全域
■制作／ヨコハマよみうり編集部
〒231-0023
横浜市中区山下町51-1
読売横浜ビル8F

<http://yokohama-yomiuri.co.jp>

音楽 ファミリー
演劇・舞台 落語

チケットのお求めは7面へ
限定特価、先行発売、お見逃しなく！

優しくて、はにかんだ笑顔が印象的な井之脇海さん。

横須賀の穏やかな海とともに育ち、横浜に引っ越してからは演技の勉強に打ち込んだという努力家。
ドラマ、映画、舞台…活動の幅がどんどん広がる海さんから、ますます目が離せない！

♪ やんちゃな甘えん坊

小学6年生まで横須賀で育ちました。母は海が大好きで、佐島や秋谷、よく南葉山と言われるエリアに住んでいました。僕の名前の由来は横須賀の海です。毎日海に行って、泳いで釣りをして。日焼けで肌は真っ黒、髪はまっ茶色、足は傷だらけ。本当に“横須賀の少年”でした。小1から小3まで髪の色は金や青や緑。幼馴染の親御さんが美容室をやっていて、遊びに行くと染めてくれて。今の僕はそんなことしたくないので考えられないです(笑)。小3からお芝居を始め、日焼けができなくなってからは室内競技のバスケットに夢中に。金髪で体の小さい僕は相手からマークされ、試合に出て何もできませんでしたが(笑)。

劇団に入ったのはテレビに出たかったというのが最初の動機です。当時、花ちゃんという犬を飼っていたんですが、具合が悪くなってから家族が暗くなって。今思えばいつでも愛情は注いでもらっていたんです。でも僕は一人っ子だったので、自分が見てもらえてない感じがしたりして。テレビに出たら親がかまってくれるのではないかと思ったんです。特に子どもの頃は、ちやほやされたかったですし、地元の人から「見たよ」と言われるのもちょっと嬉しかったり。そこからだんだんお芝居が好きになって、お芝居を極めたい、という風に変わっていきました。

♪ 芝居を極めたい

12歳の時に出演した「トウキョウソナタ」という映画で、初めて役者を意識しました。子ども扱いされなかっただけにすごく大変でしたが、プロの一員になれた気がしました。自分が目立ちたいとか、親に見てほしいとか、それだけじゃだめだ、と子どもながらに思ったんです。小6の12月だったのですが、芸能コースのある東京の学校に急遽進路変更し

て、家族を巻き込み、横浜に引っ越しました。そのくらい「トウキョウソナタ」に出演したというのは大きかったですし、黒沢清監督と香川照之さんに出会えたことは僕のターニングポイントであり、財産だったと思います。

中学・高校は始業時間が早くて通学は大変でした。大学はさらに遠い埼玉で、毎朝5時半に起きて、菊名始発の電車に乗って所沢へ。行きに1本、帰りに1本、通学時間を利用して映画を観ていました。演技を専攻し、月～土までめいっぱい授業がありました。早くお芝居の仕事をしたいくて、頑張って3年間で単位を取り終えましたが、毎日学校には行っていました。学校が楽しくて好きだったので、ズル休みはほとんどなし。どうしても観たい映画やトークショーがあるときだけはズル休みしましたけど(笑)。

大学での4年間はクラスメイトにも恵まれ、初心を思い返させてくれる貴重な時間を過ごすことができました。

♪ 4月から社会人2年生

昨年大学を卒業し、「気持ちを新たに仕事を頑張る」という目標で1年間やってきました。「学生」という甘えがなくなり、「俳優」というものが占める割合がライフワークの中心になって、責任感が増しました。ありがたいことにいろいろな作品に出会え、より真摯に芝居と向き合えるようになったと思います。

お芝居が抜きんでうまいわけではないと思いますし、同世代にはうまい人がたくさんいます。そんな中で、僕は個々の役柄の人生に向き合っていく姿勢や、取り組み方を大事にしています。ほかの役者さんと違う雰囲気を出そうとか、面白く演じようとか、そういうことは今の段階では考えていません。絶対的個性も必要かもしれませんが、僕はそういうタイプではないので、姿勢や取り組み方を評価していただいていたら嬉しいです。

日々精進!!

井之脇海

俳優
井之脇海さん
Kai Inowaki

1995年生まれ、横須賀市出身。日本大学芸術学部映画学科演技コース卒業。9歳で劇団に入団、07年映画『夕嵐の街 桜の国』でデビュー。映画『トウキョウソナタ』でキネマ旬報ベスト・テン新人男優賞を受賞。15年自身の監督作品『言葉のいらない愛』がカンヌ国際映画祭に出品された。NHK大河ドラマ『平清盛』(12年)、『おんな城主 直虎』(17年)、NHK連続テレビ小説『ひよっこ』(17年)、TBSドラマ『義母と娘のブルース』(18年)、4月よりTBSドラマ『集団左遷!!』に出演。

♪ 嘘がゼロになる瞬間を求めて

役をもらって演じているうちに好きになります。不思議な感覚ですね。第三者として、「初めまして」だったら絶対に理解できないようなタイプの人物でも好きになれてしまう。幅のある役を振っていただけるのは本当にありがたいことです。

僕は、演じる役に、嘘の部分を限りなく少なくできる役者になりたい。100の嘘よりは1、2の嘘のほうがリアルに見えると思うので。いつかゼロになる瞬間と出会えたらいいな、と思います。とにかく一つひとつの役を考えて、そこにちゃんと存在できる役者になりたいです。

5月に出演する舞台では、柳楽優弥さんと敵対する悪役を演じます。どんな人物を演じられるか僕自身も想像が付きません

が、「悪役にも正義がある」、そういったところをちゃんと丁寧に演じたいと思っています。新たな自分と出会えると思うとワクワクします。横浜からだとしど遠いのですが、ぜひ観に来てください。

今でも地元に戻ると「この海の音を聞いて育ったんだなあ」と、頭よりも体で帰ってきたと感じるんです。地元の人たちと話すことができるといって、パワーをもらえるので、僕の活力になっています。横浜・横須賀を代表するような役者になろうと思いますので、応援よろしくお願いいたします！

『CITY』
作・演出：藤田貴大
5月18日(土)～26日(日)
彩の国さいたま芸術劇場
大ホール



無料

「65歳からの暮らし方・働き方相談」

相談窓口『セカンドライフ応援コンシェルジュ』 最寄：横浜駅(西口から徒歩8分)

65歳からの生活・働き方に対する疑問や不安、お悩みなどに経験豊富なキャリアカウンセラーがお応えします。

こんなお悩みありませんか？

定年後の自分にあった働き方はなんだろう？

- 定年後、自分にどんなことができるのかな？
- 収入のことを相談したい。
- 仕事やボランティアってどうやって探すの？
- 趣味の延長で起業できないかな？ etc…



カウンセラーが1対1で丁寧に对应します

参加した方のお声

- 自分の考えの整理に役立ちました
- 次のステップへ進むための情報・資料をたくさんいただき感謝しています

職業選択の視野が広がりました！

たくさんの満足のお声をいただいております。

日時 毎週火・木・土曜日開催 要予約
(祝日を除く)

①10時～ ②11時～ ③13時～

各回
約50分

対象 概ね65歳以上の方

会場 シニア・ジョブスタイル・かながわ
横浜市西区北幸1-11-15 横浜STビル5階
(中高年の就業を支援している神奈川県施設です)



ご相談はお気軽に！ お問い合わせ・お申込み ☎045(228)7061

平日 8時30分～12時／13時～17時15分
神奈川県生涯現役促進協議会事務局

ホームページ <http://k-sgsk.com/jigyoku>
または セカンドライフ応援コンシェルジュ